

Cherwell資産管理

紹介

資産管理とは、単にどんな資産を保有するかどうかではありません。それは、それらの資産が誰によってどのように使用されているのか、コンプライアンスに準拠しているのか、除去またはアップグレードが必要なのか、そしておそらく最も重要なことは、ソフトウェア監査の際に組織がどのようなリスクを抱えているのかを知ることです。IT資産の追跡と管理は難しいものです。適切なプロセスとツールの導入がなければ、財務上のリスクにさらされる可能性があります。

Cherwell資産管理 (CAM)は、ソフトウェア・ライセンス費用、ITオーバーヘッド、ソフトウェア監査リスクを削減したいと考えている組織のために構築されました。ソフトウェア、ハードウェア、ソフトウェアの使用状況、コンプライアンス、ライセンスの状況など、IT資産インベントリの検出、統合、管理、および詳細な把握に役立ちます。Cherwellコア・ノーコードプラットフォームおよびCherwellサービス管理ITサービス管理 (ITSM) ソリューションとの統合により、CAMは以下のことでお客様を支援します：

- ネットワーク上に何がインストールされているかを推測する必要はなくなります。
- 監査前に修正できるように、ソフトウェアライセンスの不足を特定します。
- 使用されていない、または十分に活用されていないソフトウェア資産を特定することにより、無駄な支出を排除します。
- IT購買データを資産インベントリと照合します。
- 業務を最適化することで、イノベーションに時間を集中させることができます。



一目で見る

Cherwell資産管理は、ソフトウェア・ライセンス費用、ITオーバーヘッド、およびソフトウェア監査リスクを大幅に削減することを目的としています。目的:購入からインストール、そして使用から除去に至るまで、IT投資を可視化し、コントロールすることです。

主要な利点

- 運用効率を向上させ、価値を生み出すまでの時間を短縮します。
- 運用コストを削減し、管理オーバーヘッドを削減します。
- 監査リスクと財務摘発リスクを最小限に抑えます。
- ITサービスを最適化します

“[CAM]は直接患者に関わるものではありませんが、この間接的な関わりこそがとても重要なのです。強力な運営サポートにより、患者により良いケアを提供することができ、また、資産の追跡と管理により、エンドデバイスをより良く管理しているという安心感があります。”

Bill Weyrick, 情報システム担当ディレクター
ユーザーサポート、ダートマス=ヒッチコック・メディカル・センター

包括的な資産検出とインベントリの自動化

Cherwell資産管理は、包括的で自動化された資産検出およびインベントリツールを提供し、ネットワーク内のすべての実行可能ファイルを照合します。これにより、Windows、Unix、Linux、MacOS、仮想環境、ネットワークデバイス、Oracleデータベースなど、複数のソースから資産を特定することができます。Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) の情報も簡単に統合できます。Ivanti独自のソフトウェア識別カタログは、これらの実行可能ファイルに対応するアプリケーションのタイトルとバージョンで自動的に識別します。このカタログは、Ivanti社の専門チームが管理しています。柔軟で直感的なダッシュボードにより、投資の可視化とコントロールが可能となります。これらのツールを利用することで、スケジュール通りに、またはオンデマンドで資産のインベントリを行うことができ、直感的な概要と多くの資産特性に関する詳細なレポートが手に入ります。

ソフトウェアライセンスのリスクを最小限に抑える

Ivantiの世界最高水準のライセンスコンプライアンス管理ソフトウェアが、ソフトウェアライセンスの不足を解消します。当

社のライセンス管理とコンプライアンス報告は、プロアクティブな自動監視を可能にし、ベンダーの監査によってこれらの問題が明らかになる前に、財務的なリスクの評価、適正なコストの予算計上、およびライセンス不足の修正を行うことができます。また、ソフトウェアメータリング機能とアプリケーション制御機能を使用することで、同時ライセンスのアプリケーションにもコンプライアンスを適用できます。Cherwell資産管理が、デスクトップおよびサーバーアプリケーションの使用データを収集し、SaaS解析が、Salesforce、Box、Office365などのSaaSベースのアプリケーションの使用統計を収集することで、データを一元化し、サブスクリプションコストと関連付けた支出の管理・最適化が可能となります。

IT購買データを資産インベントリと照合します。

お客様の組織が他の多くの企業と同じであれば、物理的な資産と購買データ間の重要なリンクは存在しないでしょう。情報が分散していたり利用できない場合が多く、資産と発注を手動で調整して、ライセンスのポジションを把握したり、契約の有効期限を確認したり、将来の購入を計画したりする必要もあるかもしれません。Cherwell資産管理は、購買データとインベントリ資産の整合性を図るために設計された包括的なIT購買システムを提供しており、それには、単一のインターフェイスからのアクセス、追跡、レポートに必要なすべてが含まれています。

予算編成やチャージバックのためにソフトウェアや関連コストを配分したり、契約満了の通知を設定したり、インストールされているものと権利のあるものを比較したり、購入や契約の詳細をインポートしたり、その場で入力したりすることができます。また、契約情報 (Microsoft 社との契約を含む) の追跡・管理、ユーザーや部署ごとにアクセスを制限するプロファイルの設定、予算、レポート、チャージバックを目的としたIT購入品の個人や組織グループへの割り当てによるコスト削減なども可能です。

単一の統合されたデータソースで業務を最適化します

Cherwellサービス管理のすべての要素は、1つの統合されたITインフラストラクチャのデータソースに完全に統合されています。つまり、Cherwell資産管理によって自動的に取得された資産情報は、共有された構成管理データベース (CMDB) に流れ、サービスデスクのスタッフはそれにアクセスすることで、リクエストへの対応や問題解決をより適切に行うことができます。CMDBの資産データは、構成管理プロセスを支え、それが変更管理プロセスを支えています。信頼性の高い、最新のITインフラのデータソースを1つ持つことで、これらの業務プロセスすべてを最適化することができます。これにより自由になった時間で、お客様は、ITを活用してビジネス成果を上げる新サービスの開発に専念することができます。

イヴァンティ社について

Ivantiが目指すのは、Everywhere Workplaceの実現です。さまざまなデバイスとネットワークを介し、どこからでも社内アプリケーションや社内データにアクセスできるEverywhere Workplaceなら、従業員がどこにようと、生産性を維持できます。Ivanti自動化プラットフォームは、業界をリードする統合エンドポイント管理、ゼロトラストセキュリティ、エンタープライズサービス管理ソリューションを一体化することでデバイスの自己修復と自己防御を可能にし、ユーザーのセルフサービス機能を強化する、統合ITプラットフォームです。アメリカのビジネス誌「Fortune」が選ぶ100社のうち78社を含む、4万社以上の企業がIvantiを導入し、クラウドからエッジまでのIT資産の検出、管理、セキュリティ保護、保守点検を行い、いつでもどこでも従業員に優れたエンドユーザーエクスペリエンスを提供しています。詳細については、[ivanti.co.jp](https://www.ivanti.co.jp)にアクセスしてください。

The Ivanti logo consists of the word "ivanti" in a lowercase, sans-serif font. The letter "i" is red, while the remaining letters "vanti" are black. A small registered trademark symbol (®) is located at the top right of the letter "i".

[ivanti.co.jp](https://www.ivanti.co.jp)

+81 (0)3 52265960

contact@ivanti.co.jp